愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月五日二十日發行

（定價）一枚參錢一ケ月分六錢三ケ月分拾八錢半年分參拾六錢壹ケ年分七拾貳錢全國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢
發行所　東京市麴町區飯田町一丁目（牛ケ淵公園）愛國婦人會内　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

發行所移轉　麴町區飯田町一丁目（九段下、牛ケ淵公園内）愛國婦人會内に移轉す

社説

◎愛國婦人會の効果

愛國婦人會は戰死者及準戰死者の遺族並に重大なる負傷者にして癈人に屬する者を救護することを正面の目的とするは、會則第一條に明かにして、此立派なる主意に贊成すればこそ會員となるのて、此主意を十分貫徹すれば、會も會員もそれて滿足、またその上の望あるべからざる筈なれとも、物の効能は一にして止まず、新聞の帶封は之をハタキとなして反古は漉きかへして又紙とするか如く物は成るべく役に立て、二重にも三重にも利用することそ、經濟の道にも叶ひその物の出來甲斐もあるなれ、大は一國の政治より小は一家の整理に至るまて、其理屈は同じことにて、愛國婦人會もまた此數に洩るゝものにあらず、其眞向に翳せる目的の實行に努むるのみにて、濟ますは、惜しきものなり、開國以來何の時代か、よく愛國婦人會の如く社會の各層を通じて多數の日本婦人が、一主義の下に合同團結して、大なる活動をなせしか、遠き昔は勿論、封建時代に於いても、社會の階級やかましく、門閥の障壁高くして、大名は大名、武士は武士、百姓は百姓と表向は勿論、裏面の交際に至るまて、如何なる場合にも格式を振廻して、窮屈千万、各自ら作れる籠の鳥となりて、一生を狹き境界に送り居たるに、御維新以來階級の制破れて、四民平等、華族も新平民も同じく國家に税を納めて、同しく公民たり、其選擧の一票は誰が投しても利目に等差なしの難有き御世となりたれども、婦人間の階級は舊に依つて嚴存し、大名の奥方は座敷に籠居し腰元を相手に暮すもの、百姓の妻は芋を洗ひ衣を縫ふものと一定し居たるに、愛國婦人會の成立せしより、茲に一大變化を起して、婦人間の平等主義始めて行はれ、百姓の家内が大名の奥方と一堂の下に會し、對等の物言にて會務を議するなど、從來の考よりせば天地も覆らん計の革新を來し、是迄は帶や着物にしか使へぬと思ひ居たる其金が、軍人遺族救護の役に立ち、村の鎭守のお祭話以上は相談したることなき婦人が、愛國の事業に就いて意見を吐くなど、社會の上下を通して、婦人の生活及活動が一層の意義あるものとなるに至れるは、實に快心の至にして、此會の力預つて大なるは何人も疑はさる所なり、從來の婦人は往々家庭に於いて、井蛙的生活を營み、また世界の大海の遊泳自在なるものあるを知らず、姑は嫁と僅の言葉尻を捕へて反目嫉視し下らぬ事に業をにやし心氣を勞らして毎日を過す有樣なりしに、今日は斯る會の出來て、多少、家内の摩擦に消耗し居たる其力を社會の爲に致し、嫁姑の衝突よりの心配苦勢が、直に國の爲め心配苦勢と其姿を變するに至りたるは、日本婦人の幸福の爲に、將國家社會の爲に誠に慶賀に堪えさる所なり、而して我等は愛國婦人會が表面の活動を盛にすると同時に、裏面に於いて斯くの如く喜ぶべき効益を益々擴張して日本婦人一般が其影響を受くるに至らんこと、尙會の軍人の遺族を救護して遺憾なからんことを期するが如くなるべきなり。

◎大規模

從來日本人の仕事は、概ね規模狹小にして、印籠根附の精巧あれとも、萬里の長城ピラミッドの雄大なるものなく、家は頭の閊へぬに満足して、又鐵柱、石疊の山の如き建築に想到すること能はざりしが、此度の戰爭を行ふに及んで、始めて大規模の日本人を見ることを得たり、今日より見れば源平の戰爭は子供の喧嘩のみ、關が原の合戰、朝鮮征伐の如きも、蠻族の戰の氣の利きたるものに過ぎず、三十萬の大兵を海外に動かして、文明の利器の限りを盡して世界一と稱せらるゝ强國と輸贏を爭ふが如き日本人の大規模は、今日始めて之を見るを得たり、而して此規模は獨り、戰爭に止まらず、戰爭がまづ其標準を與へて、萬事か大規模となり、男女を問はす遣る氣になつて勇み立てるは、國家の繁榮上慶賀に堪えさる所にして、戰爭の直接の獲物よりも、この方寧ろ大なる利益たるやも知るべからず、開國以來一番の大仕事を日本は夏休暇の間に遣つて、仕舞へり、是より秋期に入らば又如何なる大仕事を仕出かすべきかは世界の刮目する所、日本國民の骨の折るゝ所にして、男子は勿論婦人も晏然として暮すを許さゝる所以たり、婦人も家内の小ぜり合に泣いたり怒つたりする暇あらば、社會に出でゝ、博愛慈善の爲に力を盡すべし、斯の如くにして、始めて大規模の日本に相當する日本の婦人たるを得へきなり。

慈善

◎男女交際論及藝娼妓廢止論に反對す

相談役　子爵　谷干城

○日本人は男女の關係淸潔也　自分は歐洲諸國をも一と通り巡視して其風俗慣習等を調べた事があるが世界の內で日本人程男女の關係が淸潔に行はれて居る處の國はない世に所謂る文明國の內容は實に見るに忍ひざるもので文明とは只其表面丈けて一皮むいて裏面を伺へは百鬼夜行の有樣である

○男女交際行ふ可からす　男女互に自由なる交際を許したなれど日本の男子の風儀も矯正され婦人も智識を增進せしむる事か出來るであろふと云ふ說があるが中々行はれぬ議論であるのみならずかゝる開放的に男女の交際を自由にする必要はない若し自分の女房でも娘でも勝手に男子と手を携へて話をする事か出來るとしたならばどうであるか決して一國の風儀を維持する事は出來ない

○家屋の構造か異なる　歐洲の建物は皆室が嚴重にしめる事になつて居るから總べての秘密はしめられて仕舞うて表面に顯はれぬ然るに日本の家屋は開放的である丸で家の建方か異なる從つて國民の氣質も異なりて一方は惡事を匿すと云ふのを以て特色として居るが日本では家庭には秘密がないと云ふのを以て特色として居る位てあるから家屋から作り替へねば歐洲の眞似は出來ぬ

○藝娼妓の存在を認む　日本の社會に藝娼妓なるものか存在するのを以て國光一點の汚辱となし世に所謂る廢娼論なるものが起つて居るが一國行政の眼より見れば寧ろ其存在か必要であつて彼等の爲に日本の社會の風儀が維持されて居ると云ふてもよい程である歐洲ては獨逸のベルリンでも佛國の巴理でも其大部分の婦人は不潔なる婦人である若し藝娼妓を廢止したならば其弊は歐洲のそれと異なる事なきに至るであらう

○貴婦人と藝妓　藝娼妓の存在を許して置くのは一國の行政上適當な處置であるが而し社會がこれを歡迎すべきものてないのみならず婦人社會に於いても之を排斥し彼等をして潔白なる婦人と同席せしめぬ位の見識は婦人になくてはならぬ我會の如く日本婦人の大團躰が出來たならば其勢力に依り彼等をして社會に跋扈せしめぬやう勤むるは至當の事である歡迎してまで會員には入れぬやうするかよかろふ左すれば自然陶汰て正業に就くもあらう又此不正業者は紹介する人もないよふになろふと思ふ

電話番町五百二十番

◎本號には附錄として評議員前子爵夫人松井正子、沖繩縣支部副長日比松子、京都支部幹事羽室象子の肖像を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎支那の貴婦人

服部文學博士夫人　服部しげ子

左の一篇は久しく清國北京に滯在して支那の上流婦人とも交際し其家庭の状况等をも熟知せらるゝ博士夫人が先程歸朝中訪問して讙得たる談話の要領なり文字の責はもとより記者にあり

●貴婦人の住居　支那では家の建築方が日本と異つて居りまして夫と妻との室は軒を別にして同し家の内でも又一つの門があつて一番奥の家が即ち婦人の室であります故に主人と主婦との間には傳令使が居ッて用を辨じて居ります家庭の整理は彼方でも主婦が任じて居りますが主婦の室が中央にあッて其四方を指揮すれば便利であらうと思ひますに一番奥の方にあつて指揮を取ッて居るのですから不便です

●衣食　廚か別にありますから主婦か直接に料理する樣な事はありません且一家團欒して食卓に就くと云ふやうな事はなく女の方は女同士男の方は男だけで食事をなし子供も男女によッて別れて食事を致します衣服は日本邊よりも美しくして且つ高價で装飾品も中々多く求めて頭の先から爪のさきまで飾られて、居ります私は常に思ふのですが日本人程單純な服装をなすものは世界に多くあるまいと思ひます殊に近頃は髪も飾らず帶も細くせよ袖は切ッて仕舞へと云ふ風になッて益々單純になッたやうであります

●纒足をせす　北京に居るのは多く滿洲人でありまして滿洲人は決して纒足はしませぬ殊に髪の結びやうによッて直立不動の姿勢を取ッて居り且つ食物が善ゐ爲か日本の婦人よりは餘程壯健なやうであります運動方法としては別に何も發達して居りません鞦韆なぞを致すは漢人て滿洲人は鞦韆を見た事さへないと申します

●交際　婦人間の交際は中々盛んなもので上流の婦人は大概毎日外に出る程であります夫はつまり親族關係が廣くありますから吉凶其他の目的の爲に交際する事が多いのであります交際には必ず飲食が伴うて居ります一般に教育がありませんから時事を談ずるとか云ふが如き事はありません近頃外國人との交際も盛んに行はれて居りますが時勢の風潮に連れて交際方が變ります即ち日本が强いと云へば日本につき露國か强いと云へば露國につくと云ふ風であります

●母としての權力　日本でもさうでありますが妻としての權力はなくとも母としての權力は非常なものでありまして孝と云ふ事を極端にまで引付けて居ります西太后か政事上にまで權力を及ぼして居られるのは全く此觀念の結果でありまして西太后は事實上支那の主權者と云うてもよい程であります

●西太后　西太后には私も四五度謁見しましたが御齢は六十以上丈は高い方ではありませんが眼光鋭くして人を射り其元氣の盛んなる事は驚くばかりであります支那の女子教育を盛んならしめんには西太后の意思を動かすに限りますから日本からても謁見の出來る方下田歌子先生共が御出になッてよく利害得失を陳べられたならば女子教育も興す事か出來ると思ひます

●結婚　滿人と漢人との結婚は法律で禁じてはありませんが互に結婚を致ません婚姻を取結ぶのは兩親であッて本人には決定權はありません持參金と云ふものもありますが其内で最も妙なのは墳墓の地の持參をする事であります其結婚の範圍も上流社會同志行はれますから親族關係が廣まつて何百軒と云ふ親類が出來て居ります

●離婚はなし　日本の如く容易に離婚が行はれる國は恐らくないでありませうが支那では決して離婚はありません萬止を得ざる時は別居制度が行はれて居ります之は結婚に費用がかゝるのと社會上の制裁がやかましいからであります且つ妾と云ふものはありますか決して本妻になる資格はありません假令ひ本妻か死んでも妾か本妻になる事は斷じて出來ない事になつて居ります

●日清婦人茶話會　清國の婦人と交際を結ぶ爲に一つの茶話會を組織して居りますが列國公使夫人其始め各國婦人の妬みがありますから支那婦人を其茶話會に引き入れる事か困難でありますが日本婦人で私共が交際せられ得る婦人が十七名の外はありません

●階級制度　支那には上流下流の二階級はありますが日本の樣に中流と云ふ階級がありません官吏は餘程上流のものとなつて居りますが然し商人と常に同席して酒食を共にして少しも恥ちません官吏と云うても其實は皆商人と相結んで商業を營んで居りますから眞正の威嚴は保つ事が出來ません又上流婦人と下流の婦人とは一切話しをせぬかと申すにさうでもありません交ッて話しをしても恥と思ひません

●婦人會　支那では慈善其他の目的の爲に團結して居る婦人會の如きものは一つもありません慈善の設備は男子の設けたものがありまして婦人は之に加はッて働いて居るのみであります

●音樂　音樂は一般に卑賤のもの、樂むもの、樣になつて上流社會の婦人が嗜にするやうな事はありません且つ其樂器の種類も簡單なもので琴などは見た事がないと云ふ婦人が多くあります音樂によつて社會を調和するやうな働きは整うて居りません

◎名家談片

●谷子爵　戰爭に勝つ度毎に各地で提燈行列などをして御祭り騷ぎをするがよく考へて見るがよろしい何萬人と云ふ死傷者のある事であるから國民の大部分は其親族又は朋友の關係に立つ人であらう然るに其親族の生死も知らぬ内に御祭り騷をすれば喪に服すべき人が提燈行列に加はッて居ると云ふ事か起るであらう斯る事に頓着なく騷ぐは輕躁な國民である◎斯る例か全體西洋にもあるか知らん余が記憶する處では往年獨佛戰爭の時に當り獨國々民は皆涙を振ッて鋒を採った之に反して佛國民は全國擧つて御祭騷をしたか佛國の方が準備が調うて居らぬ爲に負けた若し此例によるものとすれば寧ろ不祥の例と云はねばならぬ

●堀内陸軍中佐　此間の「愛國婦人」によれば谷子爵夫人や山地子爵母堂が家庭に於て養蠶せられ其收益高の全部を本會へ寄附されたと云ふ事か記載してあッたが吾輩は實に感歎の情に堪へぬ斯る事柄は勞動よりして得る樂みを自覺する外に家庭に於ては勤儉の美風を作り社會に對しては産業の奬勵となり國家に對しては奉公の美擧となる等其效果は實に千萬無量である貴婦人方にも之に習はれん事を希望する◎此度の戰爭で貴族名將の子弟が往々打死をせられたが是れ等の人の母が其子を國の爲に捧げられたる心情になッて貴族社會の婦人が働かれたならば如何なる困難なる働きでも出來る事と思ふから今一番の奮勵を希望する

●井上佐賀縣書記官　我縣は奥村刀自の生國であるにも拘はらず全國で一番會員か少いのは甚だ遺憾な譯であるが昔より云ふ通り豫言者は故郷に容れられずで發達が遲いのである併しかゝる偉人を出したのは縣下の名譽とする處であるから是非本會を盛んにせねばならぬと思うて專ら盡力中である◎女子義勇團は内務省の役人が來て大分譽め立てたものだから今では佐賀の一名物となつて來た先程まで仕事がなくて困つて居たが此節師團より多くの仕事を請合うたどうか名物を失はないやうにしたいものである

●松平男爵夫人（須磨子）　主人も廿日頃には歸朝するさうでありますから又變つた話しもありませうが博覽會（聖ルイ）で一番骨の折れた仕事の一つは園遊會であつたさうです最初の豫定は千人位招待する筈の處我も〳〵と傳手を求めて招待を受けたもの三千人以上に達したさうで米國大統領の令孃も臨まれかゝる興味深く鄭重なる宴會に臨んだのは始めてであるとの賛辭を陳べられたさうです◎日本に來て居られるマギー夫人の夫も博覽會の人類館の長をして居られ主人は夫れと知らずして御交際を始めて居ッた處が後にマギー夫人の夫であると云ふ事が知れて一層親密に交際するやうになつたさうです

●松平子爵（直平君）　自分は米國の商工業視察のため先程洋行して來たが供などは連れず獨身で旅行したが別に不自由はなかつた只日本内地の旅行とは違つて何だか窮屈で心が落付かんやうであつた◎米國へ往く日本人には下等の者か多い爲に日本人の聲價は餘程落ちて居る戰勝國の國民として持てはやさるゝのは日本人の多く往つて居らぬ地方である◎米國人が工業なり商業なりを始める際は餘程質素な者であつて工場なども簡單な小屋掛位で濟ましい〳〵發達の見込かついて後大仕掛に懸るやうな仕組である◎米國では商店の簿記方は大概婦人を使用して居る自分の見た或工場では婦人か男子同樣過激なる勞働に服し鎚を揮つて居たのを見た◎博覽會にも一寸立寄つたが日本が一番早く調うて開場したので評判がよかつたやうである

遼陽に戰死せられし人を思ひて　靜岡　三浦貞子

さくら花さくへき土と契りおきてもろこしか原に散りし君かも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

白骨

中村春雨

順太は異に素直な、優しい子で、この上もなく私を大切にする、昨年の暮に貰つた嫁とも至つて仲がよく、亡くなつた親父の悪い癖が又あの子にまで傳染たのかと心配してつた大酒も兵隊から歸つて後はさつぱり止めて了ひ、夫婦が唯一心になつて百姓仕事に精を出してくれるもんだから、私も辛と安心してこの分でゆけばまア〳〵この世で樂は出來ずとも、心殘さず何時でも御迎を受けて極樂往生が遂げられますと喜んで居つたのでございますが、それ、俄にあんな騷動が持上つて、愈〻戰爭が始まつたといふのでございませう

これも皆お上の御用を勤めるのでありますからこんな事を云つては濟みませんが、もう十年前、日清戰爭の時にも順太の兄の早太といふのが騎兵に取られまして、出て行つたのはようございますが、海城といふ處まで着くが早いか、腸チブスに罹つて病死して了つたのでございます、其處へ行くまでに二三度、戰爭はしたさうでありますが、金鵄勳章も、戴く譯には參りません……お父さんおつ母さん、白骨になつて金鵄勳章をかけて歸つて來るから待つてゐてよと勇ましく笑つて出て行つたのが、今でも眼前に見えるやうでございますが、つい病死なんかして了つたので、思ふやうに御國の爲に働く事が出來なかつたのだろうと思ふと、さぞ殘念だつたらう、さぞ口惜しかつたらうと、可哀さうで〳〵、私はもう……

親父はそれからつい酒が上つて、いろんな悪い友達が出來て、二三度警察へ引張られるやうな、お話にもならない事になつて了ひまして、とうとう終には前後不覺に食酔つてよろけ込んだのでございませう村の用水池の中から死躰で引上げられるといふ淺ましい非業な最後を遂げました

もう〳〵昔を思出すも忌、眞實に身慄が出て來るのでございますが、二人あつた倅を一人は御國の爲に差上げたのでありますから、殘る一人は私等の手助になつてくれるやうにと、何日々々村の鎭守の八幡樣へ御祈願を立てゝゐましたが、神樣は御聞入れ下さらないのか、あの子まで徴兵にとられて了ひまして、私は一人ぼつち、六十になつた老人が朝から晩まで、鋤鍬持つて、若い者に負けぬやう、働通したのでございます、それも三年の後には、無事て歸つてくれるからといふのを唯一つの樂にしてゞございます

漸つと年が明いて、上等兵になつて歸つて來ました時の、私の喜といふものはもう……

親父さんも安心して下さい、早太も喜んでくれと、佛檀をのぞいて、私はもう何度繰返して云つたか知れません

昨年の暮頃から何だか騷動でも起りさうなといふ、村長さまのお話を聞きました時は、私はもう氣が氣でなく、毎朝八幡樣へ跣參をして、何卒無事に治まつてくれるやうにと、それは〳〵一生懸命で祈つたのでございます、

急に嫁を貰つたのも、斯して置けば早太のやうに、無やみやたらと死ぬ死ぬと猪武者のやうな事は云ふまいと思つたのでございます……

神樣も、聞へませぬ……順太はとう〳〵呼出しを受けるやうな事になりました、その前から自分でも覺悟してゐたと見えまして、己は充分御國のために働いて死ぬ、美事に死んで見せる、決して兄貴のやうな病死なんかはしない、假令病氣にかゝつても床の上では死なない、一人で敵の中へ飛込んでさし違へて死ぬるなんて、いろんな氣になる事を云出しまして、今までふつゝり止めて居た酒をそろ〳〵飲出しまして、一晩なんか、大分亂暴をやりまして嫁を打つやら蹴るやら、宛然人が變つたやうな事もありました、

嫁は自分が忌はれたのかと思ひまして、私を捉まへちや泣いた事もありましたが、或日突然に、お勢、離縁だつて云出しました、勢つて、嫁の名でありますが……もう吃驚して顏の色を變へてゐます、私も眞實に吃驚して了ひましたが、一躰如何してそんな事を云出したんかつて、聞きますと、現に角離縁する、離縁する事があるから離縁するつて、そればかり云張りまして、いろ〳〵宥めても、お勢が泣いて詫びても聞入れず、しまひには亂暴な事をしさうですからとう〳〵一時お勢の實家へ引取らすやうな事にしましたら、後で、私へ呼出状を見せまして、お母さん、これが來たんだ、明朝は出立します、いろ〳〵考へたがまだ十八九の若盛を可愛さうでなりませんから、離縁するのが本人の爲だと思つて、あんなひどいことも言ひました、私が戰死しても、御上ではお母さんを打捨つては置かない、一生經て過す丈の事はして下さるから、お母さんも私に潔く戰死さして下さいつて……ぽろ〳〵男泣に泣出しました：

私ももう堪りません……胸が張裂けるやうに思ひましたが、如何にお國の爲でも兄弟が兄弟共命を捨てゝ後には年老つた母一人殘るやうな事をしないでもすまう、汝丈は生きて歸つてくれ、それでなけりや、私を殺して行けつて、云ひましたら順太は默つて、私へもう抱附いて了ひました

それでも翌朝愈出る時には、お母さん歸つて來るから安心なさいよつて、笑つてゐました、眞實に歸つてくれつて、私は一生懸命で云ひました、その時に、何處で聞きましたか、お勢は片息になつて駈けて來まして、順太さん、私は汝の女房ですよ、死んでからも二人は夫婦ですよつて、泣きすがりました、順太も顏を反けてゐましたが、默つて何も云ひませなんだ。

愈別れる時、屹度歸るからつて、堅く言葉を番へましたが……順太はとう〳〵歸つて來ました……白骨になつて歸つて來ました、(了)

戰史

遼陽とセダン

文學士　河野元三

地東西と距り、時古今と異なれば、遼陽とセダンと、必しも符節を合する如きもの無きは固よりなりと雖も、不思議にも、その月と日との殆んど一致せると、重圍孤立の旅順にさも似たるメッツを救はんとの南下軍が、扼止せられたる地點として、當年のモルトケ將軍にも比すべき兒玉總參謀長の神籌妙策悉くその圖に當りたる、奧、野津、黑木三軍の道を分ちて進みながらも、能く連絡を保ちて、勢を一點に集注し得たるは恰も彼のサクソニアのアルベルト軍、プロシアの皇太子軍の擧作のそれにもまさりたるあるを見れば、遼陽大捷の報に歡喜せる耳目に、暫くセダンの戰を語るも、亦可ならずや。

マクマオン將軍の下に三軍團より成れる所謂シァロン軍あり。ヅクロー・フェーイー・ヅーエーこれを率ひ。總勢十有二萬と號す。將軍と皇帝とは共に退きてパリを守るの得策なるを知れども皇后とパリカオ内閣とは、これを肯ぜず、バゼーヌをメッツに救はずして都に還らば忽ちにして一揆起らむと報ぜり。バゼーヌ亦十九日付を以て北進の事を通し來りぬ。マクマオン乃ち北モンメヂーを經てメッツと連絡せんと進みぬ。そのエール河畔に達するやフレーシュウィルレル以來暫く相會せざりしドイツ軍と騎兵の衝突あり。蓋しパリ新聞紙の報道によりてモルトケは軍を北に進めたるなり。八月二十七日サクソニア軍は早くもミューズ河畔ダン・ステラーに於いてマクマオンとメッツとの間を絕てり。これを南山、大石橋等にも比すべきか。ミューズ河畔と陽河附近と自ら近きものあらむ。再擧して單獨の敵をやぶらずして、遂に北を指したるマクマオンは奧軍に追はれたるクロパトキンと類を同うすと云ひ得べし。

ボーモンの戰に比すべきもの無しと雖も遼陽以南一步も進み得ざりしクロパトキンは猶セダンに楯籠りたるマクマオンの如きか。九月一日ドイツ軍十四萬フランス軍九萬相對し六時半に至りてマクマオン傷きこれを好機として最後の幕をヅクロー將軍の責に歸して免れたるは遼陽ステーションを逸早く汽車にて逃れたるらしきクロパトキンの爲しかねまじき行爲なり。午後一時フランス軍の旗色益惡しくバセーユ、バラン、デーニー、ジボンス悉く敵に占められドイツ軍今やセダン壁外に押し寄せぬ。安平鞍山店飯屯早くも屠られて第四第二の兩軍が遼陽に肉薄せるに相似たりと云べし。

但その結尾や遙に異なれり、マクマオンの後をうけたるウィンプェン將軍は我が軍諸方に利あらざるを見圍を潰して南の方カリニァンに向はんとせしが圖らざりき二時半に至りてナポレオン三世皇帝は誰にも議らずして白旗を揭げぬ。將軍これを爭へども益なし、退いて能くせん限りその兵を救ふの外なきなり。夜十時ウィンプェンはモルトケとトシンエリーの一民家に會せり。ドイツ總指揮官は曰く貴軍兵食共に乏しあらゆる抵抗何の効もなし即刻に和を爲さすんば明旦拂曉我軍は貴軍を粉碎すべしと。九月二日フランスの參謀會議は城の防守不能なるを認め敵は今やセダン城壁を占めその六百九十門の大砲は瞰下して一令の下に百雷一時に轟き一のフランス兵をも殘さざらん態度あるを知りぬ。ウィンプェン終に開城の約に調印せざる能はざりき。一八七〇年九月二日フレノワ日付の五箇條より成れる開城の約定は永く後世の模範とする所たり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

家政法規（十）

禮法（接客）（類載）

○來客ある時は寒暑其折に從ひ或は汗を拭ふ爲に水を進め或は特別に溫き食物を進むる等懇切に取扱ふべし

○客の種類により談話の種を選ぶべし老人の前にて當世風のことのみを賞賛して其感情を害するなどの事あるべからず

○食事を出す時はもし高貴の客ならば自ら配膳して進むべし

○同輩の客ならば遠慮せしめざる爲己も同時に相伴すべし菓子を進むる折も先客に進め己も取りて食すべし

○客の前にて頑是なき子供を叱責し嚴重に近寄らしめざるなどは酷に過ぎて客の感情を害するものなれば適度に之を遠ざく可し

○客の履物傘の如きはよく召使のものに注意し置きて紛失せしめざる樣にし履物は必ず直し置かしむべし

○俄に天候變り雨雪となり客に其用意なき時は其客の身分によりて車を命じ或は雨具を貸與する等懇切にすべし

○出產見舞の客を妄に產所に導き接見せしむるは客に對して穢を憚らざるのみならず產婦の爲にも宜しからず注意すべし

○傳染病患者ある時慰問を受けたる時は特に親密なる人の外は面會を謝すべし一は客の爲一は公衆衛生の爲なり

○客を送りて玄關に出づる折は客の見ゆる間は其位置を退かず目送すべし

禮法雜事

○文書の秘密は法律にても保護する程なれば假令親しき間にても決して他人の封書を開封すべからず

○女子は衣服髮飾其他身のまはりを見苦しからざるやう注意すべきも只容貌の美ならんを望む時は賤しき風に陷るを以て禮儀に適ひ嗜みを忘れざる程度に止むべし

○何程世は平等となりしと雖も主婦と下婢との間には或制限なかるべからず主人は帶つきなるに下婢は羽織掛にて伴をなすか如き事あるべからず

○硯箱及び手箱の類は言ふに及ばず其他身近く使ふべき調度は常に淸淨に保つべし是れ其人の品性に關するものなればなり

○調度のみならず凡ての物の置所を整へ衣類を脫ぎたる時にも形正しくなし置き又家を掃除するにも隅々まで塵埃をよく拂ふべし

○集會の席にて日頃親しき友に逢ひたりとて物躁しく走り寄り或は聲高に其名を呼びかくるか如きは性質輕躁なるを示すものなれば愼むべし

○途中友達などに逢ひ暫時談話するは可なるも長談すべからず若し長談の必要なれば聲低く話すべし

○人と物語する時興味を添へんとて小事を大事に言ふ可からず

○多人數集まれる所にては誰か聞きても解し易き程の聲にて談話し決して小聲にてさゝやく可からず

○人より物を依賴せられし時力にあまる事を容易に引受く可からず之を果さゞれば信用を失ふに至る

○人に對し世愛辭想をいふ時は其詞遣ひに注意し諛ひ或は嘲けるが如く聞こえざるやう注意すべし

○賓客を慰むる爲に滑稽を言ふは時宜によりて惡しき事には非ざれども女子は妄りに滑稽を談ず可からず品位を落す事あるべし

◎一家會計の原則

○一家の經濟にも收入と支出とがあるが支出の部分に入るもので主婦の金庫より一度出た金は皆通常支出と云うて居るが畢竟是れは計算の便宜上用ゐる言葉で嚴格に云へば決して支出ではないなぜならば金錢で家屋なり器械なりを購入するは金錢と云ふ流動資本を土地家屋等の固定資本に變へたに過ぎないで一家の財產上には增減はない理窟である

○一家の富を構成するものに二た通りある智識腕力藝能等人の心身の働きを內界の富と云ふ外界の富とは人の心身に附着せずして人か取つて以て其慾望を滿足せしむるものは皆外界の富である故に金錢のみ多く貯へるのを富と思ふは大きな間違である

○支出の內に現物支出と金錢支出とがある農家に於て自作の米を食料に供し山を伐採して家を建築するなどは皆現物支出である一家の會計で金錢支出のみ記帳して現物支出を計算の中に入れぬのは正確なる會計の仕方ではない

○受樂支出と收益支出とを辨へねばならぬ受樂支出と云ふのは衣食住其他日常生活に必要なる支出である之に反し收益支出は利益を收むる目的で支出するのである例へば自分の住居の爲に家を建てるのは前者に屬し貸家の爲に家を建てるは後者に屬するのであるそれて受樂支出のみ多くて收益支出が少いのは家計の基礎が固くない證據であるが主婦の主として司るは受樂支出であるから特に注意せねばならぬのである

○又消耗的支出と使用的支出とがある消耗的とは一回の使用によりて其目的を達し直ちに消滅するもので飲食物薪炭油の類は消耗支出である之に反し久しきに亘りに使用するものの例へば家屋又は衣服の類は久しく使用するによつて始めて目的を達するのである故に家財器具衣服等は美を競ふよりは實用的に永久保存せられ得るものを求めねばならぬ

○尙支出を區別せば必要支出と奢侈支出とがあるこれは人々によつて異なるものであるが必要支出の內でも自然になさなくてはならぬものと其地位を保つため必要なものとある奢侈支出は人の分限に相應せぬ支出である

○要するに人は皆慾望と云ふものかあつて其慾望を充さんかためには種々なる富を消費するものであるから一家では成るべく最少の消費を以て成るべく最大の慾望を充さん事を計るが經濟上の原則である

◎戰地への贈り物に就いて

相談役　陸軍步兵中佐　堀內文治郎

◉彈丸糧食さへ送り兼る　出征軍人の留守家族中には戰地ではさぞ不自由であらうから色々なものを送りたいと云ふ人があるが然しよく考へて貰はねばならぬ事は戰爭で一番必要な彈丸糧食であるがそれさへ送り兼ねるといふ場合であるからなか〳〵個人〳〵の送りものがうまく送られやう譯がない

◉考へてまで送るに及ばぬ　家族の人々は是れが不自由であらう彼れが不自由であらうと色々なものを考へて送り出す工夫をする人もあるやうであるが是れは眞に婦人の仁であッて是が爲に事務の煩雜を來して軍隊一般が迷惑するのみならず中には送ッて貰うた個人の方でも然程難有くない品物もあるてある

◉請求によッて送れよ　つまり軍人が出征地よりして本國の人に物を送つてくれるやう依賴せぬうちは彼等は其必要を感じないので若し是非必要ならば彼等から依賴して來るに違ひないから其時送り出して少しも遲くはない又其依賴品の內でもッて不必要と認めらるゝものはどんどん除いて送るやうにせねばならぬ

◉自分の弟にも送ッた事なし　自分の弟も現に出征して居るが一度も此方から物を送ッた事はない又弟の方からも依賴して來ぬつまり一般の供給は行屆いて居るから此方て考へてまで送らないでもよいのである

◉恤兵部に寄附すべし　恤兵部には夫れ〳〵物品運送の途が付いて居ッて寄贈品はこれを一般の軍隊に平等に分配して全軍隊の幸福を高める處であるから恤兵部へは成るべく多く寄附して貰ひたい恤兵品の種類は官報にも揭載してある通りである

泰西婦女訓

◉獨立自營は己が勤勞の效果か人に對し幾何の價値あるかを知り其爲べき職分の分界を判明せしむ

◉自己を評價する事を知れは他人を評價して誤る事なく世人の眞の要求と之に應する方法を悟る也

◉正義と勇氣は獨立自營の婦人によッて養はる職業に從事する婦人は終局の困難に耐ふる勇氣あり

◉獨立自營の婦人は自己の費す所と自己の幸福と平均せしむるに注意するにより金錢を活用せしむ

◉婦人は必しも獨立自營せよと云はず然れども必要あらば何時にても自營するの途を講じ置けよ

◉家居するか爲に累を他の家族に及ぼす者は勇を奮て自營の途を講ぜよ之を避くるは怯懦の人なり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會員に告く

來る九月貳拾八日本會移轉式を擧行し建物御覽に入れ候間當日午前八時より午後五時迄の間本會所定の徽章を着け御隨意御參觀有之度乍略儀本紙を以て御案内申上候也

九段坂下牛ヶ淵公園内
愛國婦人會本部

◉評議員會開會期日　本月分及び來月分の開會日取りは左の如くにして開會時刻は九月廿八日（第四水曜日）より以後總べて午後一時開會の事に改正せり

九月廿八日（第四水曜日）午後一時より
十月十二日（第二水曜日）仝上
十月廿六日（第四水曜日）仝上

◉評議會　例會を去にし十四日開きたり當日の議題は理事二名推薦の件移轉式の件趣意書改正の件軍隊に慰問品贈與の件家屋の一部貸與の件にして出席者は左の如し

岩倉會長谷理事鍋島理事大山理事評議員千家俊子戸田時子清浦線子松平須磨子松浦島子佐方鎭子山脇房子鳩山春子仁杉歌子伊東美津子中山幸子岩佐儔子高木鐐子關郎子櫻井とく子濱尾作子堤常子宇佐川種子豐島文子長井とし子佐藤猶子の諸氏なりし

◉奥村刀自　鎌倉より歸京し本部内に居住せらるゝ事となれり其建物は本部の建物に接近したる平屋建の瀟洒なるものなり

◉遊說　遊說員の一行岡山地方を去にし十七日まで遊說し夫れより愛知縣に遊說の上歸京の筈なり

◉本部移轉式の順序　別項廣告にかゝげたる本部の移轉式は九月二十八日午前十時より擧行の筈なるが當日は總裁殿下も御台臨あらせられ名譽會員たる各妃殿下も御台臨あらせらるゝ筈なり而し時節柄の事にてもあり其式は最も簡易を旨とし來會者一同に茶菓を饗應する事に止めたり

◉寄附金披露　其後本會へ寄附されたる人々の氏名及金高は左の如し

一金壹千圓　公爵　島津忠濟
一金參百七拾九圓　在臺南英國人　イー、エー、ワイルマン
仝　南部臺灣貿易會社代表者　エツチ、ヘスチングス
仝　エル、マツクスウエル
仝　ペイン商會代表者　エー、ダブリユー、ペイン
仝　仝　エツチ、アーサー
仝　アード商會代表者　アール、エヌ、オーリー
仝　獨逸人　ダンカン、ファルガツソン
仝　岡野敬次郎
一金參百圓　本郷　栗原みち子
一金百拾壹圓五拾五錢　埼玉縣大宮　外五十五名
一金百圓　男爵　山口十八
一金百圓　麻布　中田敬義
一金五拾圓　小石川　大橋幸子
一金五拾圓　麻布　西峰子
一金五拾圓　墺國人　アーウイン、フランツ
一金五拾圓　愛知　三輪たか子
一金五拾圓　仝　大鹿純一
一金五拾圓　仝　布目政治郎
一金參拾五圓　四谷　宇佐川種子
一金貳拾圓　東京　某婦人
一金貳拾圓　東京醫術開業試驗場片岡郎岡登良與　外三十名
一金貳拾圓　牛込　淺田幾野
一金拾五圓　四谷　柴田芳子
一金拾圓ッヽ
大阪　武井たか子
仝　柳崎若子
仝　谷村伊右衛門
仝　鹽見かね子
仝　肥田彌兵衛
仝　弘世せつ子
仝　中村ねい子
兵庫　松尾しな子
仝　野口榮子
仝　大島きせ子
牛込　吉井憙子
仝　安藤作子
神奈川　荒井眞子
臺南　高島友子
打狗　井關喜一郎
宮城　綿貫英造
長野　山崎高子
兵庫　吳錦堂妻梅子
仝　藤井雅太
深川　三野村米子

右の内岡野敬次郎氏の分は先般同氏令閨サエ氏病死せられ其際諸方より香花、供物料として寄贈せられたるものを取纒め其名簿を添へ本會に寄附せられたるものなり其名簿は永く本會に保存す。因に亡サエ氏は本會東京支部幹事にして本會の爲盡力せられたる方なり又墺國人アーウイン、フランツ氏は同國陸軍騎兵中尉にして目下我滿州軍に從ひ觀戰中八月十八日は墺國皇帝陛下の御誕辰當日なるを以て之を祝するの意を以て我戰死者遺族救護の爲本會に寄附せられたるものなり

◉本部會議室の公開　本部の會議室及び應接室は評議員會等の外使用する事稀なるを以て事務上差支なき限り公共の爲に之を開放し婦人の集會用等に臨時貸與する事となせり但し本會職員の紹介を要す

◉本部事務室一部貸與　報國婦人會は元來我會の評議員諸氏に依つて組織せられ出征軍人の衣服を裁縫し其收益高を恤兵部及本會へ寄附する目的にて會員は現に有樂町に於て執業し居らるゝが目下會員もますく多數となり支部設置の必要を生じたるにより本會の一部室を借受たき旨申込まれ本會は之を貸與する事となせり

◎各地支部の狀況

◉滋賀縣支部　同縣支部にては會員犒軍の擧を企畫し事務費を節減して右の費途に當て左の廉々を實行し來り居るよし

△馬場驛通過の軍隊へ茶及麥湯を供す

△同地步兵九聯隊所屬傷病兵到着の時は職員及び會員三四名宛を派遣し慰問せしめ時々適當の物品を贈る

△馬場驛通過（晝間）他師團所屬後送病傷兵へ茶及麥湯を供し且要求に依り治療用氷等を供し尚紀念の爲一人づゝに愛國婦人會の名入り湯呑を寄贈す

△停車場へ多量の清水を用意し置き軍馬用に供し且つ會員をして軍人の手巾手拭等を洗滌せしむ右實行に付いては支部長以下職員は元より大津市及附近膳所町等の會員數百名を數組に分ち軍隊通過毎に一日若くは半日交代にて四五十名宛出場し各部署を定め何れも襷掛等の輕裝に甲斐くしく接待に從事し居れりと云ふ

左に三木少佐より佐藤主事にあてられたる書簡を掲げて同支部犒軍の狀況一斑に示めさん

（前略）何れの土地も若干の代表者にて見送られ候へ共就中馬場京都に於ける愛國婦人會員の盡力は今や死地に赴く軍隊に活生命を與へられ只管感謝のため啼涙を催され候僅かに五分に過ぎざる停車中婦人は敏活に水筒に麥湯を充たし滑冷の水を運び來りて不潔極まる手拭を洗ひくれ候等は誠に要を得たる厚遇と誠心感謝に堪へず候右等の實況を與羽邊の人々に見せたきものと存候云々

◉兵庫縣支部　本月十日兵庫縣支部長服部鈴子氏は幹事渡邊逵子船井玉子會員佐藤峰子の諸氏を伴ひ姫路豫備病院に到り傷病兵を慰問し同支部よりは手拭五百筋佐藤氏よりは葉書貳千枚を寄贈せられたりと而して遼陽の戰闘に於ける負傷者幷に戰死者の遺族及家族にして姫路に在住せる各家を歷訪して之を慰問し又同地に收容中なる浮虜をも慰問せり

◉日本橋區の幹事會　此程幹事會を開き一區の内を數組の受持區に別ち其受持區内に於て戰死者等ありたる節は其組のもの必ず會葬する事に定めたり

◉京都支部　京都支部にては今回職務心得なるもの設定せり其要項下の如し

▲區内に住する戰死者遺族及出征軍人の家族を時々慰問し其の家政の情況を視察し異狀ある場合に於ては其の部長支部長に報告すること▲區内に住する婦女子に入會を勸誘すること▲區内一般に對し本會の主旨目的及現況を周知せしむること

過般同支部より呉海軍病院文庫へ傷病兵慰問品として寄贈したる雜書類は前後合計千三百五十五冊の處同病院長及副長より此程謝狀を送り來れりと

◉本紙愛讀者よりの書信　左は「愛國婦人」愛讀者步兵中尉横川武男氏よりの書信にて戰地の寫眞を添へ送付せられたるものなり吾人は今日迄此の如き熱心なる愛讀者あることを知らざりしを深く憾みとするものなり而して氏が本紙を愛するの極遂に其砲煙彈雨の間に驅するの身を以て親しく見聞せる所を嘗に筆にするのみならず更に撮影して以て吾讀者の感興を深からしめんとせらるゝ雅懷高風に至つては所謂英雄の胸中閑日月あるもの誠に欽慕の情に堪へず吾人は讀者と共に深く其厚情を謝するものなり希はくは氏が武運長にめでたくして續々實戰の活劇を吾紙上に躍如たらしめんことを同寫眞は次號に掲載の積りなり

（前略）別紙寫眞は陣地撮影の目的を以て壘砦の背面より撮影致候ものに御坐候明日は壘砦の正面より大きく明瞭に撮影可致候間後より御送附申上候追々快戰可有之筈殊に遼陽の快戰には必ず參加可致筈に御坐候間彈丸の破裂せる景況普通寫眞師の撮し得ざる場所を撮影の上御送附可申上候間貴紙に御掲載の程願候但し小生戰死致候節は此約束も無效と御承知相願度候當地の見聞一々御通信申上度と存候貴誌の餘白に御掲載被下候はゞ幸甚に御坐候

小生は貴誌の通信員と御承知相願度候小生は貴誌第一號よりの愛讀者諸愛讀者の一人に御坐候

遼陽東方僅に十四里の地點　横川武男

八月十四日

◎會員美談

◉草鞋三百足　近江國甲賀郡水口町字水口谷口はる子氏は平素髮結を業とし其日の生計を營めるが日露開戰以來紙屑其他の不用品を賣却し其代金にて二十足若くは三十足の草鞋を買ひ終に四月に至り三百足を得たるを以て之を恤兵部に献納出願せしに恤兵部に於ては採用せられざるを以て他日之を賣拂ひ出征軍人家族の救護に寄贈せんとし今回右草鞋を購入せしときの殘り金壹圓拾七錢を本會へ寄贈申込たり尙日夜職業を勵み其餘裕を以て年賦會員に入會するの發奮なりと云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◉高崎翁に御歌下賜　故高崎少佐戰死の報傳はるや父翁正風氏は先づ其靈を鎭めんとて取敢へず左の詠歌を卷紙に認め之をば靈前に手向けぬ

身をすてゝ國に盡せとつれいひしちゝのをしへをよくまもりけり
のこしおく忘れかたみの一人兒は吾もりたてん心やすかれ
大君のみたし〵草をしなりにて身をすてし子を何かなけかむ

折柄田中宮內大臣日頃翁と親交あるを以て高樹町の邸を訪れ國家の爲とはいへ可惜勇士を喪ひたることを悼み且つ翁の悲みはさることながら其が爲に老の身に障りあらばなど只管に言ひ慰めけるに翁は右の歌を示して覺悟の程を語り聞えぬ大臣は覽て心を安んじ且つ畏けれど乙夜の覽に供へ奉らんとて其歌をば乞ひ受けて歸りけるが日を經て宮內省より御使あり皇后陛下の御歌拜見を仰聞けられたり洗手香を燒いて謹んで拜し奉れば

皇后陛下御歌
元彥が戰死につけて父正風がよめりし歌を見て

國のため捨てしこの身を惜むにも
まつおもはるゝ親心かな

千代ふへきうまごを杖にくれ竹の
すくよかにしてみよにつかへよ

とありしかば翁は恐懼に次ぐに感泣を以てし直ちに女官の御許まで

見ゆるには泣かぬ袖をもぬらしけりくにのはゝそのもりのしつくに
くれ竹のこの子をもまたおふしたてゝさゝけまつらん君かみためてに

聞え上げんことを願ひ奉りけるに超えて八日遺骨到着の日山內皇宮亮改めて右の御歌を奉持し高崎家に至りて公然下賜相成りたりと

◉恤兵品の寄贈　開戰以來陸海軍へ恤兵品の寄贈に付いては各人競うて之れが寄贈に怠らざる所なるが目下軍隊に於て最も不足を感ずるものは卷紙、封筒、齒磨、楊枝、半紙、塵紙、卷烟草、手拭、石鹼等にして箇々思ひ〳〵の物品を寄贈するよりも寧ろ代金相當の現金を以てする方當局者取扱の上にも將た軍隊に於て隨時窮乏品を購求する等よりも便利なる由なれば恤兵の寄贈を爲さんとするものは成可現金を以てする方其の目的を達するに近からんかと云ふ

◎矯風會慰問袋　日本婦人矯風會にては開戰以來出征軍人を慰藉せんとて米西戰爭の際米國にて行はれし慰問袋に倣ひ是迄已に數千個を戰地に送りたるが右慰問袋は巾六寸長一尺位の小袋にて中には筆、紙、齒磨、楊枝、手拭、ハンケチ等の日用品を始め種々なる冊子等を思ひ〳〵に入れあるものにて戰地にては何時となしに矯風會の便利袋と云ひなすに至れりと云ふ

◉義勇艦建造法　海事協會の設計にかゝる同艦の建造法要領は左の如し

（一）帝國義勇艦隊は男女を問はず全國民の義金を以て之を建設す（二）船舶の構造に關しては關係當局大臣の指示を承け之を定む（三）帝國義勇艦隊船舶は總て日本帝國に於て之を製造す但時宜に依り適當と認むる船舶を購入することあるべし（四）帝國義勇艦隊船舶の維持方法は創設委員會に於て之を定む（五）義金は金壹千五百萬圓を募集するを目的とす

◉少年大會　靑年會諸氏の催しにて兒童を集め彼等に一日の慰安を與へんがため少年大會を此程靑年會館に於て開會せり來會者凡そ一千名頗る有益なる會合なりしと云ふ

◉女子秋吟會　同會は此程巢鴨精神病院の患者を慰問し且つ音樂と精神病者との關係を研究する爲に同院にて音樂會を開き好成績を得たりと云ふ

◉慈善演藝會　日本力行會は學資なき靑年に補助を與へ殖民移住を奬勵する爲に數年前設立されたるものなるが同會の企畫を完うせしめんため鳩山春子山脇房子氏等の盡力にて來る廿四日二十五日歌舞伎座にて慈善演藝會を開くと云ふ

◉軍人家族の救助　勅令によって軍人の家族に救助を與ふる旨發布されたるがさて實際上今日迄此勅令に基き救助したるものは殆ど皆無の有樣なりと其原因は國庫の救助を受ければ一時公民權を停止せらるゝ譯なれば出征者に對し其市町村の不名譽なるを以て市町村は極力扶助するの方針に出づること最も有力なる原因なりと當局者は語れり

◉東京女學講習會　先般來土曜日曜の兩日を利用して女子師範學校高等女學校に入學を志望する者に其準備の學科を敎授し又一般女子に家政裁縫編物組紐等の技藝を授け來りしが孰れも良好の成績を呈せしにより尙九月より事業を擴張する豫定にて目下補缺募集中なりと

セカイノシンブン

◎美しき家屋の建築を奬勵するがためパリにては毎年最も美しき家屋の設計者三人に金牌を與へ其持主は半分税を免ると

◎果物に名字　桃の熟せぬ折その上に名字を紙て切りて張りおき、熟した時之を取れば、靑く名字が殘ると。

◎跣足　は百分の八十五は左足なりと。

◎一番休日の多い國　は歐洲ではロシヤで、一年に八十六ある、次はオーストリアで七十六、何れも舊敎會なり。

◎人口の疎密　歐洲は一平方哩に百七人、アジアは五十八人、アフリカは十一人、濠洲は一人半の平均なりと。

◎濠洲の人口　百二十年來殖民すれども濠洲の人口はロンドンよりも少し。

◎コルクの一噸　は百五十立方呎を占め黃金の一噸は二立方呎を占む。

◎ウィルヘルム一世　の紀念像はドイツの都市に三百十八あり殆ど千万圓を要せしと。

◎決鬪　は佛國では毎年平均四千、イタリーでは二千八百位ありと。

◎眠らぬ動物　鮭、鱒、金魚は眠らず、一ケ月數分間眠る魚あり、蠅、蛇類にも眠らぬものありと。

◎印度人　米國の王エドワード七世の臣下の大多數は英人にあらずして、印度人なり。

◎象の集金　印度では象の鼻に籠を付けてお賽錢をつながすお寺あり。

◎飲まぬ動物　兎は何も飲まぬ、草に置ける露にて足るもの丶如し、羚羊の一種、ラマといふ動物も飲物を要せす、佛國には殆ど水に觸るゝことなくして良き乳を出す家畜ありと。

◎二三哩隔てゝ會話が北極地方では出來ると、空氣か淸透なるか故なり。

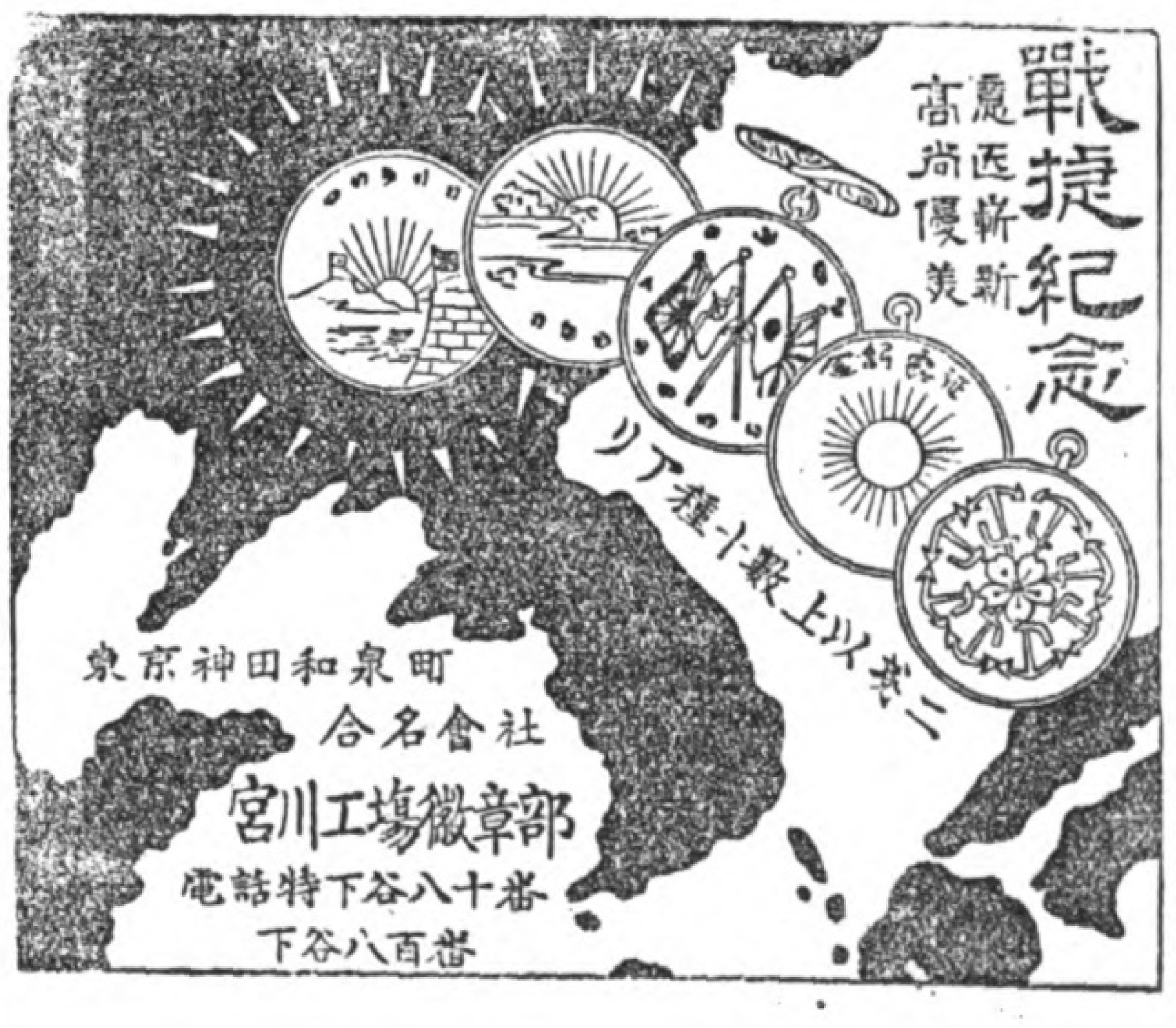
◎魚を活かして送る法　アメリカ西岸のタコマでは魚を水中に凍らして氷塊として、東岸の市場に送り、こゝでは氷を溶かして元の生きた魚にする、去かし寒氣は氷點以下十四度を越えてはならぬし、又日光を通してはいかぬ、これはアラスカの洌や湖での實見で、魚は冬は氷中に鎖され、夏になるとまた蘇生へるといふ。

◎盲目の多い國　は歐洲ではロシヤが第一て、千人に二人は盲目てあると。

◎ドイツのペルリンでは左の耳が右の耳よりは良く聞える人が數千あると、これは絶えず電話を使用するより來たとのことなり。

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番

定期預金　六ヶ月以上　年五分三厘
當座預金　百圓に付日歩　八厘
特別當座預金　同日歩　壹錢壹厘



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時局之要具

最新式

家庭用

ホワイト裁縫ミシン

◉本品には詳細なる使用書を添附致しますから從來裁縫ミシンに些かの御經驗なき方々にても容易く御了解の上自在に使用し得らるゝのであります。軍國多難の今日、一家一族を護らるゝの御婦人令孃方手づからシャーツ、ハンカチーフ、ズボンシタ、等の裁縫に從事せられ遠く滿洲の野、若くは黄海の灘に出征せらるゝ最愛の夫、あるは最親の兄弟を初め幾多軍人の勞苦に酬ひられんには一は**勤儉の美德を養ひ**一は**後方の任務を全ふし**御婦人の令德として蓋し之れに過ぎたる業はなかるべし

◉**愛國婦人會々員**又は**公共團體**にて恤兵の目的の下に本品御用の節は特に**大減價**を以て思召に應じ聊か奉公の微衷を表せんとす幸に本店の信用を以て御用被仰付度奉希上候

橫濱市元濱町壹丁目五番地

Ⓜ **古屋商店**（電、特、壹〇八八番）

二十世紀最大發明

田口精術謹製

開明墨

ときはたから

すらぞよかける

墨をするの煩なく筆に水をつけ墨面を一刷すれば濃淡自在なり◉墨質純良なれば腐敗沈澱の憂なく夏も融ず冬も凍ず墨光爍然最上の唐墨も遠く及ばず◉美麗輕便にして案上を飾り行旅に適す◉舊墨に比すれば時間に二倍代價に四倍の利益あり◉本墨中溶性墨は習字に墨の元は「インキ」に勝り製圖に宜し其他文具等三拾餘種あり◉支那朝鮮緬甸等に歡迎せらるる墨の輸出は我國未曾有の事とす◉敎育品展覽會に優賞を受く官衙書家大小學校銀行に專用せらる◉見本は郵券六錢にて五匁墨一罐を呈す

◎殊ニ開明墨ハ陸海軍人軍旅ノ御携帶ニハ輕易ニシテ至極妙ナリ

開明墨本舖　**田口商會**

東京市京橋區南傳馬町一丁目七番地　電話本局二二五二（電信略號カイ）

女學通信教授 講義錄再版出來せり。

本會は小學卒業後進んで高等女學校に入學し難き事情ある女子に居ながら諸名家の講義になれる女學の講義錄を講習せしむ◉本會は忠實に女子敎育に貢獻する事茲に十年講習者已に參萬餘人に達す◉本會は僅少の學費にて大冊の講義錄を配布し疑義の質問に答へ習字書學の淸書を批評する抔女學校敎育と同等の學力を得しめん事を期す◉會費は每月前期貳拾錢後期四拾錢別に入會の節前期貳拾錢後期四拾錢の束修を要す◉葉書又は電話にて請求あれ直に會則を進呈す

東京麹町區下二番町三十七番地　**大日本女學會**　電話番町千三百三十番

哲學講話會

講話題目　哲學

講師　文科大學助敎授文學博士　桑木嚴翼君

會場及時日　愛國婦人會々場、十月二日、九日、十六日、二十三日の午後一時より二時間宛

聽講者及會費　一般婦人、會費五十錢（開講當日御持參）

聽講申込所及申込期限　大日本女子敎育會（本郷區西片町十番地ろノ五號）九月二十五まで、端書にて申込よし

大日本女子敎育會

袴之親玉

東京日本橋區長谷川町

御卸部 **美濃礒本店** 電話浪花二八五九番

小賣部

本鄕區本鄕五丁目 **美濃礒本鄕支店** 電話下谷一四一五番

淺草區諏訪町 **美濃礒淺草支店**

日本橋區佐内町 **美濃礒佐内町支店**

芝區新櫻田町 **小田商店**

牛込區神樂町一丁目 **伊澤商店**

四谷區傳馬町一丁目 **伊澤支店**

目 半襟り帶揚

○陸海軍戰捷襟飾 ○戰勝日本縮帶止 ○別織下〆博多縮

受賞全國他例なき○雀形○えり治形 まけ入

新橋竹川町十二番地 電話新二〇二七 本店 **ゑり治**

神田表神保町壹番地 電話本局九五二 支店 **ゑり治**

院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察

副院長 醫學士 久保德太郎 每日夕刻診察

婦人科產科榊病院

東京麹町三番町卅三（電話番町三九五）

看護婦の需に應ず 東京看護婦協會

神田區錦町參、貳、（電本三三一四）

產科婦人科 手術學 診斷學 講習

來十月十五日始業醫士免狀所有者入學を許す

東京日本橋區濱町三丁目七番地（電浪一六〇）

產科婦人科楠田病院

◎◎三大難患最新療法◎◎

るゐれき 切開を要せずして根治す

◉心臟病 ◉脚氣 專門

千葉内科院

神田區三崎町三の一 西通り二十五

耳鼻咽喉科院

院長 ドクトル **山上兼輔** 診療每日午前

四谷區本村町三十七番地 電話番町七三〇（士官學校前）

西川商舗牛豚肉販賣謹告

品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市内何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辨
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味

價格左ニ

牛肉百匁	円
ヒレー	50
ロース	45
ラン	38
ステキ	38
イチホン	38
ヒキ肉	30
ブリスケ	22
ハラスープ	16
スネスープ	20
尾	15
ケンネン	05
舌	42
ケンネン油	14
ヘット	16
豚肉百匁	
上等	20
並等	18
チャブ	14
ヒキ肉	16
油	16

電話番町 六五九　小石川表町廿二番地　**西川本店**

電話下谷 二二七一　本鄕區駒込東片町五番地　**西川支店**

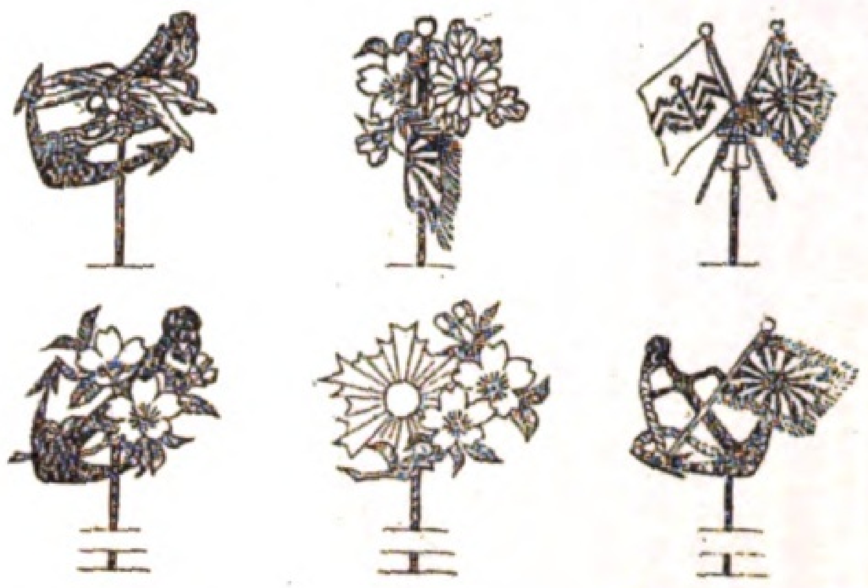
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂 神田區表神保町三番地

◎東海堂 京橋區銀座四丁目

戰勝紀念ピン



金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價 純銀製一個金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋裝に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる嶄新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮內省御用達 東京市下谷區池の端仲町 玉寶堂 電話下谷（特九六五番 一二四四番）

小說 家庭 女夫波

前編再版發行 後編九月一日發賣 定價各一冊六十錢郵稅不要

萬朝報記者 田口掬汀著 口繪 鏑木清方 表紙 平福百穗

（內容）讀者中一度互に冷却せる夫妻間の舊情溫を回復倍加して一家團欒の破綻を救濟し實績を有する家庭小說に有之其女主人公は心操高く意思强き日本婦人の好模範として描かれ居り申候

（外觀）裝釘粹麗小說界無前の珍品

大賣捌所 東京 上田屋 北隆館 東京堂 東海堂 大阪 吉岡書店 杉本書店

發行所 東京市本郷區彌生町三番地 金色社

大醫處方調劑

內外可溶性錠劑 消毒綱帶材料 葡萄酒滋養品類 醫療用諸器械

麴町四丁目 尾澤藥局

御用の節は電話番町百四十一番へ御願申候

工業用藥品 高等賣藥類 高等化粧品類 度量衡各種 和漢洋藥品類 外國諸鑛泉 衛生消毒分娩用具 寫眞用藥品 ゴム製氷袋類 線香、薰香類 舶來ミルク及哺乳器

以上正格に、誠實に機敏に、薄利に、輕便に、駿速に、熱心に信用を第一として御需用に應じ奉らんと期す、仰ぎ希くは多少に拘はらず御愛需御賞用あらんことを敬白

東京市麴町區麴町四丁目十二番地（舊小西商店跡） 尾澤分店 藥劑師 尾澤洪 謹白 電話（番町百四拾一番）

明治三十七年九月五日發行（每月五日二十日二回）

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 愛國婦人會內

第五回內國博覽會銀牌受領

其他內外各博覽會金銀牌受領

最上醬油

登錄商標 薔薇麝香入 水晶おしろい 無毒薄化粧

東京通塩町 大和屋 賣捌

大瓶金貳拾五錢 小瓶金拾貳錢

女子技藝講義

◎講義錄は平易にて何人にも分り實用に適す◎講師は女子高等師範校教授其他◎九月廿日初號發行見本は郵券十五錢會則二錢◎各地方に支會を設け實地講習會を開く◎本月の入會者は束修を免ず

裁縫▲造化▲刺繡▲編物▲繪畫▲割烹▲染織▲生花▲禮式▲茶の湯▲家政▲看護

會員募集 束修卅錢會費一ヶ月卅錢一ヶ年參圓五十錢一ヶ年卒業

東京下谷茅町二ノ廿九 女子技藝會

土曜日曜 女子講習生募集

女子師範學校入學準備（各科補缺募集）

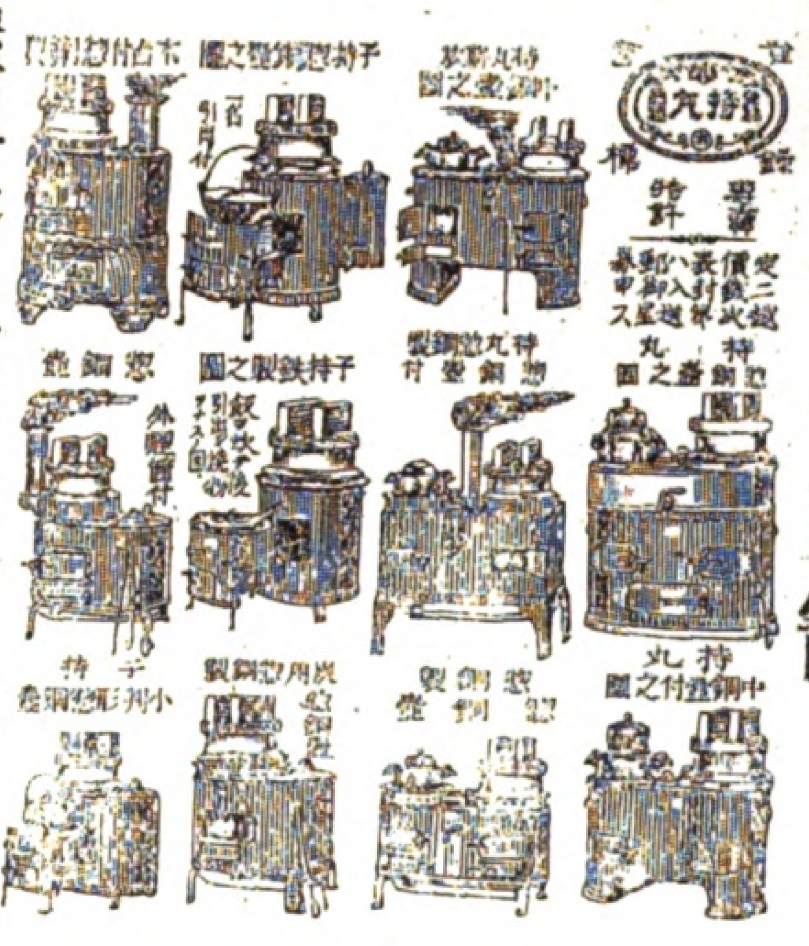
高等女學校入學準備（至急申込べし）

技藝科、編物、組絲、裁縫、家政、其他（規則入用郵券二錢）

神田橋外 東京府教育會內 東京女學講習會

第五回博覽會 賜褒賞

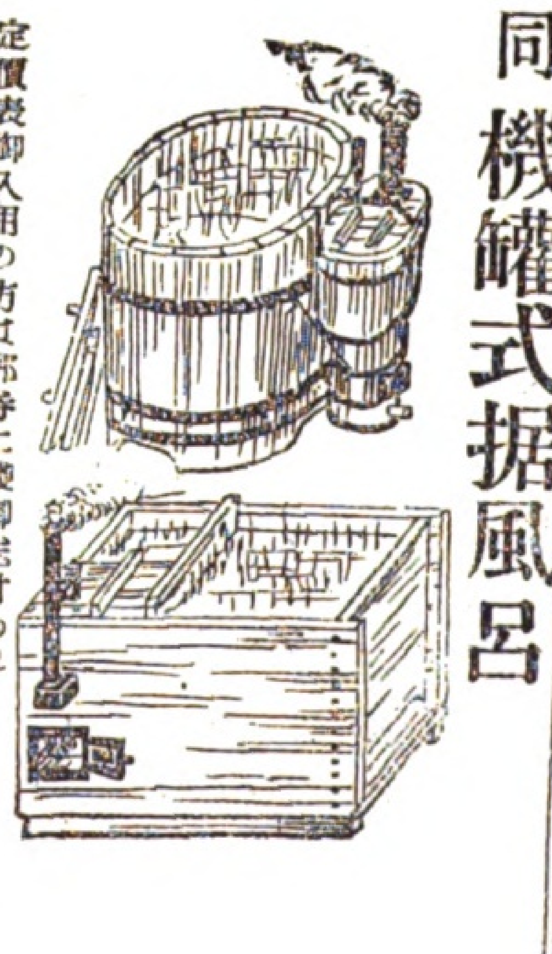
◎專賣特許竈



◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱

神田區和泉橋通松永町十八番地 名和商店

同機罐式据風呂



定價表御入用の方は郵券二錢御送付あれ

日本橋區蠣殼町二丁目十五番地 製造發賣元 名和商店 電話浪花千百七十七番

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第六十二號附錄

沖繩縣支部副長
日比書記官夫人日比松子

京都支部幹事
羽室象子

評議員
前子爵夫人松井正子

明治三十七年九月二十日發行（毎月五日廿日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會内愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN